

WRITE (5, XX) . . . データの破壊

【問】 FORTRANプログラム実行中にエラーが生じ、データが原因かと思い調べてみるとデータが消去されていました。いったい何が起ったのでしょうか？

【答】 その原因として論理機番のミスが考えられます。読み込むデータと計算後の出力結果のFORMATが同じ場合にREAD文をコピーしてWRITE文を作ると、ついうっかりとWRITE文の論理機番を5番のままにしておくことがよくあります。そのままプログラムを実行すると読み込んだデータセットのメンバーが消去されます。読み込んだデータが複数の場合、メンバーのどれか1つが消去されます。誰でも1度はするミスなので、あまり気にせずにデータを始めから打ち直して下さい。

しかし、データの量が多かったりするともう二度とこんな目には会いたくないと思うことでしょう。FORTRANプログラムを作成する場合、次のような習慣を身につければもう膨大な量のデータを打ち直す必要はありません。プログラムの初めに

```
OPEN (5, ACTION='READ')
```

という文を挿入し、END文の前に

```
CLOSE (5)
```

を入れておけば、WRITE (5, XX)とした場合にもデータは消去されず、単なるエラーとなります。

【S. H.】